

- ◆日程 2015年12月26日(土)～29日(火)
 ◆メンバー L：須田、栗、日比野、猪田

<冬合宿総括>

今年の冬合宿は八ヶ岳の行者小屋定着で3泊4日の日程で行なった。積雪量は例年より少なく、天候にも恵まれてほぼ計画通りの山行が出来た。硫黄岳から赤岳への縦走は強風のため硫黄岳のみの登頂となったが、阿弥陀岳北稜バリエーションルートからの登頂、赤岳の登頂と冬の3000m級の登頂を果たすことができたのは一つの成果だと思われる。一方、冬合宿の参加者が4名で、定着登山であることは山岳会としては喜ばしい事では無いであろう。

冬合宿は一年間の総決算であるのだから、多くの参加者と縦走などの厳しい山行内容が実施できていないのは今後の反省点だと考えている。
 (記:須田)

<装 備>

ガスボンベは6個持って行き、3個半使用した。八ヶ岳は気温が低いため暖を取るために1日2個計算だったが、行者小屋のスペースを長く使用できたこと、雪から水を作る必要が無かったことからガスの消費量が少なく済んだ。

共同装備

品 名	個数
テントNo.24	1
銀マット	2
コッヘルNo.5	1
コンロ台	2
ガスコンロ	2
ガスボンベ	中 6
ツェルト	2
無線機	1
ロープ 9mm45m	1
ラジオ	1
ランタン	1
会旗	1

(装備担当：須田)

<食糧>

今回は行者小屋定着ということで、アプローチも短いことから、軽量化は一切考えず生野菜と肉を使った鍋を3夜連続で行った。具はほぼ同じだが、味付けは豆乳、とんこつ味噌、キムチと変化をつけた。

12/26夜：鍋(豆乳味)



12/27朝：塩ラーメン

12/27夜：鍋(とんこつ味噌味)



12/28朝：カレーうどん

12/28夜：鍋(キムチ味)



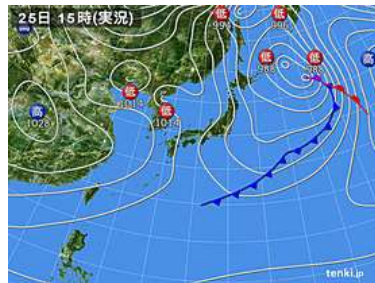
12/29朝：醤油ラーメン

(記：日比野)

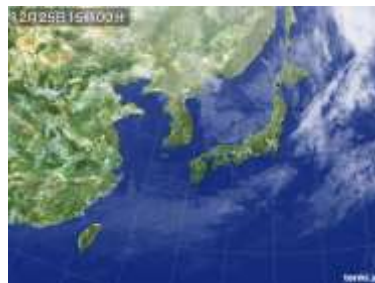
<気象>

12月25日(金)

日本付近は冬型の気圧配置になった。北海道は雪で、東北と北陸は雨や雪。山陰も雨。太平洋側は午前中は雲の多い所があったが、午後は広く晴れた。最高気温は全国的に平年より高め。ただ、24日より低く北風も強まったため、体感的には寒いクリスマスだった。



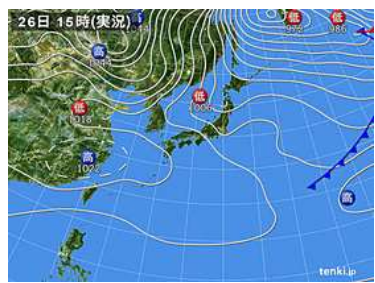
↑天気図



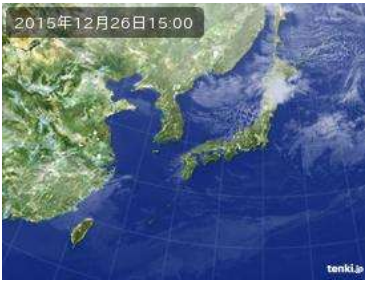
↑気象衛星

12月26日(土)

低気圧が日本海から近づき午後に東北部を通過した。北海道は日本海側を中心に雪。東北は広く雪や雨で、雷が鳴った所も。青森県の酸ヶ湯は積雪が114センチとなり、今シーズン全国で初めて1メートルに達した。札幌は1879年に統計を開始してから最も遅い真冬日となった。



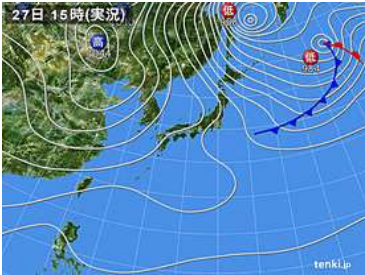
↑天気図



↑ 気象衛星

12月27日

冬型の気圧配置が強まる。新潟から北の日本海側は雪で大雪となった所もあった。新潟県の津南は24時間降雪が60センチ。風も強く、北海道のえりも岬で36.2メートルの最大瞬間風速を観測。最低・最高気温ともに北海道や東北は所々で今季一番低くなった。



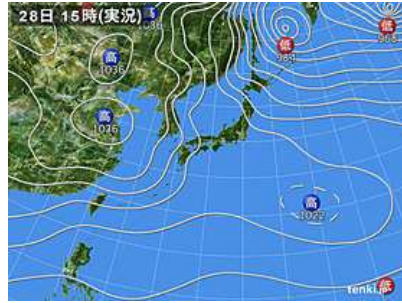
↑ 天気図



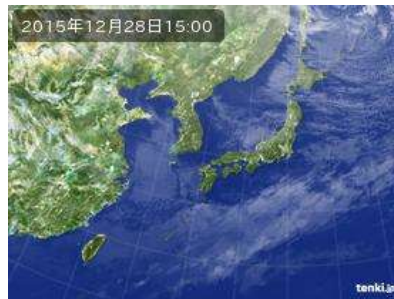
↑ 気象衛星

12月28日

北陸から北の日本海側は雪。秋田県や山形県の内陸部は午後10時までの24時間降雪量が50センチ前後に達した所も。太平洋側は晴れた。朝は東北南部から近畿で今季一番冷えた。冬日地点数は全アメダスの6割超え。最高気温も平年並みか低く年末らしい寒さに。



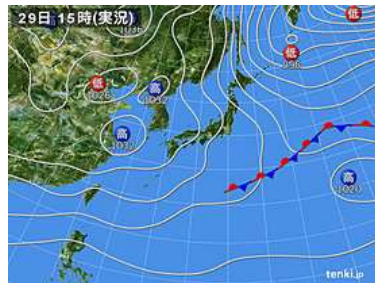
↑ 天気図



↑ 気象衛星

12月29日

日本海側では雪や雨が続き、信越を中心に積雪が一気に増えた。新潟県の関山や湯沢、長野県の野沢温泉と飯山、群馬県のみなかみなどで一日に30~40センチの降雪。北海道の幌加内は積雪が今季初の100センチ超え。最高気温は東北と北海道で真冬並み。札幌は4日連続の真冬日。



↑ 天気図



↑ 気象衛星

<会 計>

<交通費>

- ・乗車券(八王子-茅野) : 2592 円×2
- ・特急券(八王子-茅野) : 2550 円×2
- ・バス往復券(茅野-美濃戸口) : 1550 円

<食糧・燃料> : 6800 円

<テン場> : 11000 円(1泊1人1000円)

(記 : 日比野)